

第47回 鎌倉エフエム放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成17年4月10日(日) 13時30分～16時00分
2. 開催場所 鎌倉エフエム放送局内
3. 委員出席 委員総数 7名
出席委員の氏名 久保田 隆治 児玉 昭義 奥田 友彌
島田 貫司
欠席委員の氏名 小島 隆雄 小島 かほる 中島 和晃
放送事業者側出席 中丸 宗幸 菊池 正和 須藤 一郎

4. 議題

1. 2月以降の番組編成について
2. 緊急時放送対応「災害時マニュアル」の検討
3. その他

5. 議事の概要 議題に対する答申

6. 審議の内容

議長：須藤 一郎

出欠席者の確認をして会議に入った。

次に本日の審議事項の発議を提案

委員：鎌倉ケーブルテレビのチャンネルガイドに掲載の鎌倉エフエム放送の番組表、特に4月号の表紙に掲載されたスタッフの集合写真は好評であり、月次の番組告知として好ましい。今後は番組個別の紹介をさらに充実していただきたいと思う。

委員：前回の審議会で検討した「災害時マニュアル」について、今回提案された雛形は基本的に良くできている。

委員：「災害時マニュアル」を現実に即した内容とするために、行政との連携、局内での準備態勢、現実に対応した的確な行動を可能とする訓練やシュミレーションなどを整備する必要がある。

会社側委員：局として現実に即した態勢は準備中である。ハード的な問題として、市内のFM不感地域を少しでも解消するための整備も計画中である。特に非常時の交通事情への対応、非常用電源と予備放送機器の整備なども検討中である。

委員：非常時にはデマとか風評によるパニックの可能性も考慮すべきである。従って、情報収集のネットワークにも留意していただきたい。

会社側委員：ご意見を反映させたマニュアルとして完成させたいと思う。今後とも議論をいただきリスナーに納得していただける番組の放送を行いたい。本日は有難うございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった処置及び年月日 な し

8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表の内容、方法及び年月日
ホームページにて公開

9. その他の参考事項 な し

以上